

2008年度 決算説明資料

—2009年5月8日—

京王電鉄株式会社

本日の内容

I. 2008年度の業績 P. 3

II. 対処すべき課題と取組み P. 20

III. 2009年度の業績予想 P. 33

I . 2008年度の業績

1. 連結損益計算書

〈単位:百万円〉

	2008/3	2009/3	増減額	増減率
連結営業収益	429,190	420,150	△ 9,039	△ 2.1 %
連結営業利益	41,941	33,581	△ 8,359	△ 19.9
連結経常利益	38,872	30,260	△ 8,612	△ 22.2
連結当期純利益	18,129	15,446	△ 2,682	△ 14.8
連結EBITDA	72,381	67,014	△ 5,367	△ 7.4

	運輸業	流通業	不動産業	レジャー・サービス業	その他
(営業収益)	△ 14億円	△ 49億円	+ 2億円	△ 31億円	+ 28億円
(営業利益)	△ 59億円	△ 12億円	+ 4億円	△ 13億円	△ 1億円

- (注) 1. 連結EBITDAは、連結営業利益 + 減価償却費 により算出している。
 2. 事業セグメント別の営業収益、営業利益の増減額には、セグメント間取引を含む。

主な業績の変動要因

[連結営業収益・営業利益]

- ＜運輸業：減収減益＞ → (タクシー業) 景気悪化による需要減
→ (鉄道事業) 設備投資にともなう減価償却費の増
- ＜流通業：減収減益＞ → (百貨店業) 景気悪化による売上減
- ＜不動産業：増収増益＞ → (不動産賃貸業) 新規物件の通期稼働
- ＜レジャー・サービス業
：減収減益＞ → (ホテル業) 大宴会場改装工事および景気悪化による減収
- ＜その他：増収減益＞ → (ビル総合管理業) 受注件数の増加

[連結当期純利益]

- (特別利益) 特定都市鉄道整備準備金取崩しが前期に終了
- (特別損失) 減損損失、退店補償金の減

2. 連結貸借対照表

〈単位:百万円〉

	2008/3	2009/3	増減額
総 資 産	660,161	692,091	31,930
負 債	415,976	453,218	37,242
純 資 産	244,185	238,873	△ 5,312
負債及び純資産	660,161	692,091	31,930

(総資産) 設備投資の進捗による有形固定資産の増

(負債) 第27回、第28回無担保社債の発行
長期借入金の増

(純資産) その他有価証券評価差額金の減

3. 連結キャッシュ・フロー計算書

〈単位:百万円〉

	2008/3	2009/3	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	56,881	43,986	△ 12,894
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 59,428	△ 82,844	△ 23,416
財務活動によるキャッシュ・フロー	17,194	31,474	14,279
現金及び現金同等物の期末残高	58,167	50,784	△ 7,382
有利子負債の期末残高	244,254	283,794	39,540

(営業活動CF) 税金等調整前当期純利益の減少
法人税等の支払額の増加

(投資活動CF) 有形固定資産の取得による支出

(財務活動CF) 長期借入れによる収入の増加

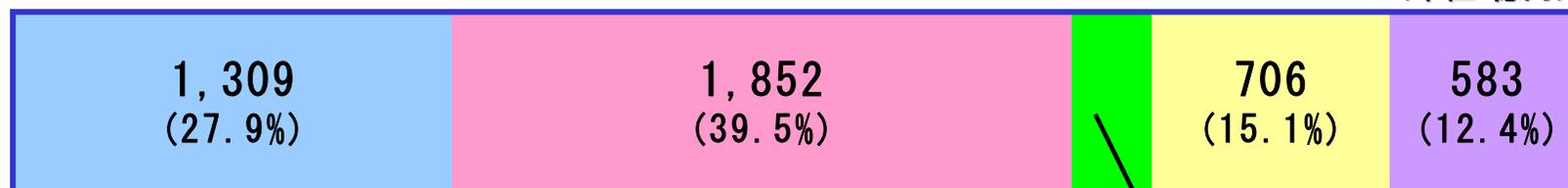
(注) 有利子負債は、借入金＋社債＋鉄道建設・運輸施設整備支援機構未払金 により算出している。

1. 事業セグメントの構成状況 (2009年3月期)

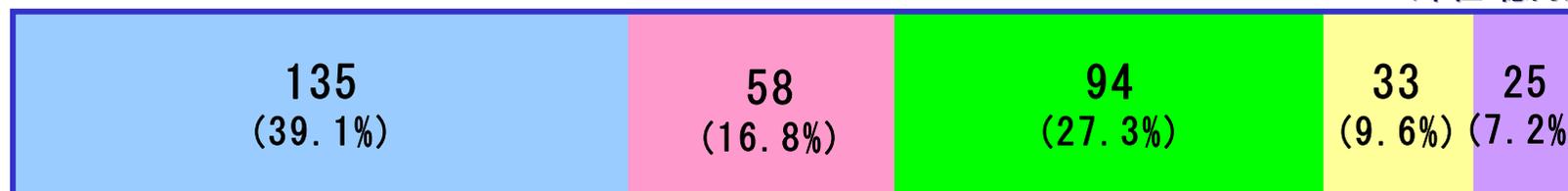
< 連結会社 > 37社 (京王電鉄は複数の事業セグメントに重複して含まれている)

運輸業	流通業	不動産業	レジャー・サービス業	その他
京王電鉄 京王電鉄バス 京王自動車 他 7社	京王百貨店 京王ストア 京王書籍販売 他 6社	京王電鉄 京王不動産 京王地下駐車場	京王プラザホテル 京王観光 京王エージェンシー 他 4社	京王設備サービス 京王重機整備 京王建設 他 8社

< 営業収益 > 2009/3 4,201億円 <単位:億円>



< 営業利益 > 2009/3 335億円 <単位:億円>



(注) セグメントの数値は、セグメント間取引を含む金額、構成比率である。

2. 運輸業の実績

〈単位:百万円〉

	2008/3	2009/3	増減率
			%
鉄道事業	82,902	82,680	△ 0.3
バス事業	28,610	28,844	0.8
タクシー業	14,665	13,749	△ 6.2
その他の	3,156	2,554	△ 19.1
外部顧客に対する営業収益	129,334	127,827	△ 1.2
セグメント間取引	3,118	3,129	-
営業収益	132,453	130,956	△ 1.1
営業利益	19,513	13,528	△ 30.7
減価償却費	18,272	21,414	17.2
資本的支出	50,020	61,180	22.3

鉄道事業運輸成績

	2008/3	2009/3	増減	増減率
輸 送 人 員	千人	千人	千人	%
定 期	363,097	365,559	2,462	0.7
（ 通 勤 ）	272,275	274,679	2,404	0.9
（ 通 学 ）	90,822	90,880	58	0.1
定 期 外	269,291	271,621	2,330	0.9
合 計	632,388	637,180	4,792	0.8

旅 客 運 輸 収 入	百万円	百万円	百万円	%
定 期	33,786	33,948	161	0.5
（ 通 勤 ）	30,160	30,333	173	0.6
（ 通 学 ）	3,626	3,614	△ 12	△ 0.3
定 期 外	46,166	46,117	△ 48	△ 0.1
合 計	79,953	80,065	112	0.1

鉄道輸送人員の分析

<対前年増減率の分析>

	対前年増減率		主な増減の要因
		特殊要因 控除後	
	%	%	
定期	0.7	1.1	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大規模マンションの建設の進捗 ○ 沿線集客施設等への来客数増 ○ PASMO導入に伴う集計方法変更 (特殊要因) ○ 前年うるう年 (特殊要因)
(通勤)	0.9	1.5	
(通学)	0.1	0.2	
定期外	0.9	0.2	
合計	0.8	0.8	

<沿線における大規模マンション建設>

	物件数／戸数	主な最寄駅
2006年度	14物件／3,300戸	千歳烏山 京王多摩センター
2007年度	9物件／1,800戸	京王多摩センター 橋本
2008年度	12物件／3,000戸	つつじヶ丘 京王よみうりランド

※ 入居戸数100戸以上の分譲マンション (当社調査による)

<ICカード利用率>

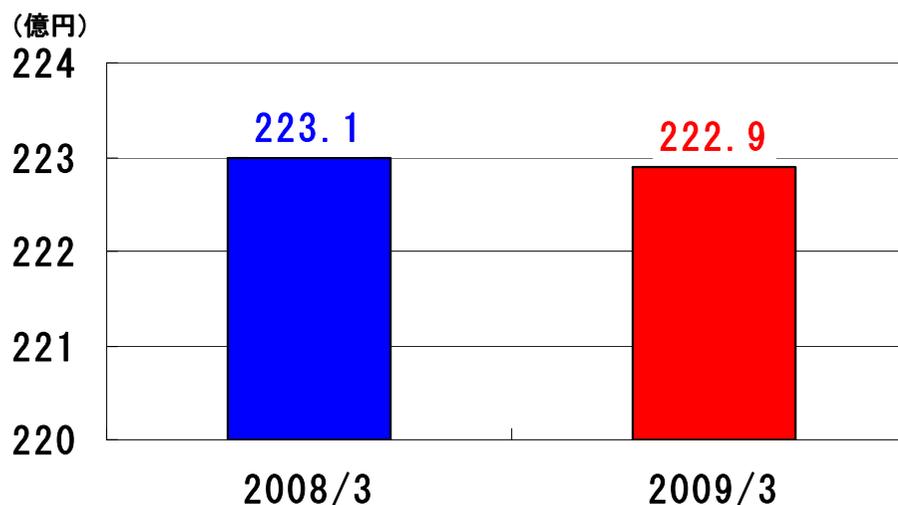
	利用率	増減
2007年3月	20.4%	—
2008年3月	68.9%	48.5P
2009年3月	77.4%	8.5P

※ Suicaによる利用を含む

バス事業の実績

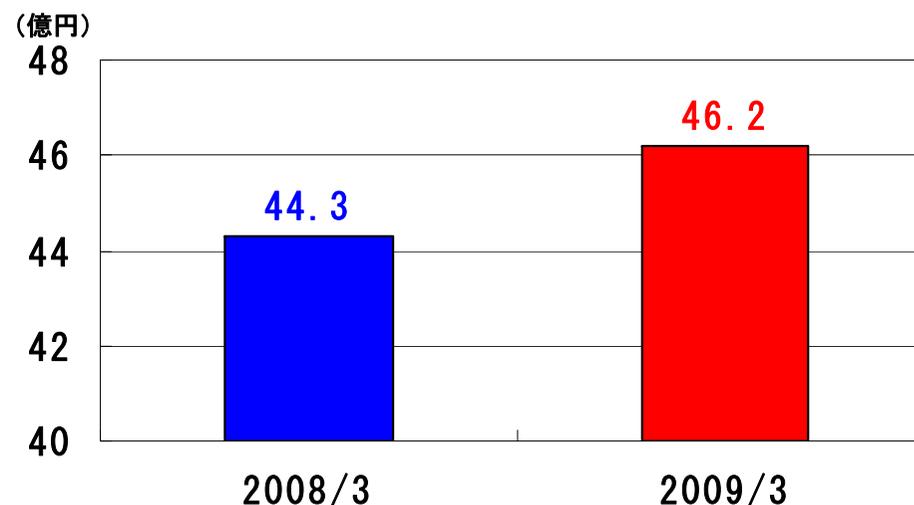
〔 京王電鉄バスグループ
西東京バスグループ 〕

<路線バス・営業収益>



○営業収益(減収) :
京王電鉄バスグループにおいて微減

<高速バス・営業収益>



○営業収益(増収) :
中央高速バス路線が好調
・ 富士五湖線、松本線

新規路線
・ 静岡線 (新宿・渋谷～静岡・東静岡)
2007年12月

※ 記載のグラフの数値は、京王電鉄バスグループ(5社) および西東京バスグループ(2社)間の内部取引控除後である。

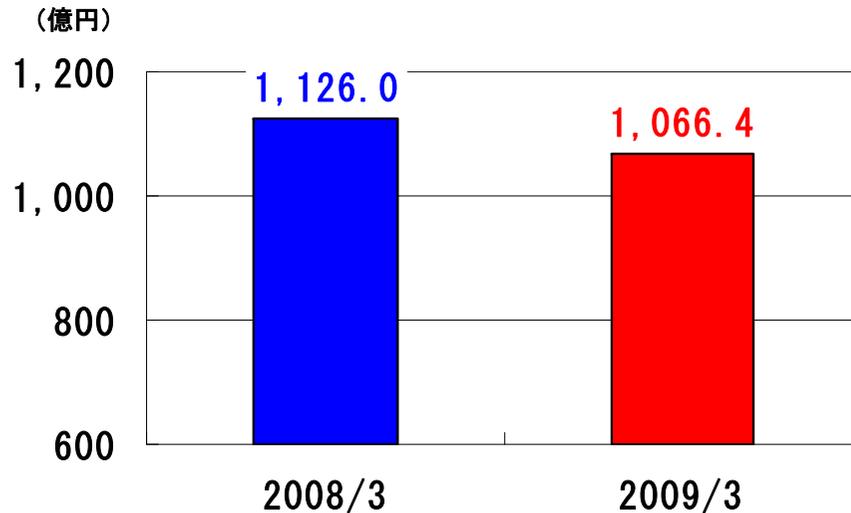
3. 流通業の実績

〈単位:百万円〉

	2008/3	2009/3	増減率
			%
百貨店業	110,620	104,939	△ 5.1
ストア業	40,865	41,317	1.1
書籍販売業	11,816	12,439	5.3
駅売店業	9,733	9,753	0.2
その他	14,402	14,523	0.8
外部顧客に対する営業収益	187,438	182,973	△ 2.4
セグメント間取引	2,703	2,263	-
営業収益	190,141	185,237	△ 2.6
営業利益	7,044	5,803	△17.6
減価償却費	3,798	3,817	0.5
資本的支出	3,402	4,946	45.4

京王百貨店、京王ストアの実績

<京王百貨店・営業収益>



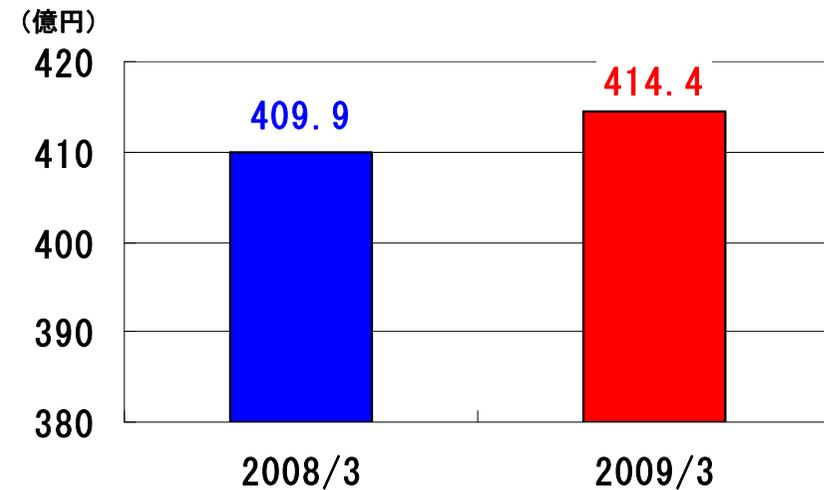
- 営業収益(減収) : 景気悪化による消費の低迷

(参考) 売上高前年比

	2009/3
京王百貨店新宿店	△5.2%
東京地区百貨店平均(※)	△6.8%

(※) 出典：日本百貨店協会「東京地区百貨店会計年度
(4月～3月) 売上高」より

<京王ストア・営業収益>



- 営業収益(増収) : 新店効果

新規オープン

・キッチンコート東中野店 2007年12月

4. 不動産業の実績

〈単位:百万円〉

	2008/3	2009/3	増減率
			%
不動産賃貸業	16,850	17,119	1.6
不動産販売業	3,303	3,151	△ 4.6
その他の	1,508	1,383	△ 8.3
外部顧客に対する営業収益	21,662	21,653	△ 0.0
セグメント間取引	2,082	2,310	-
営業収益	23,745	23,964	0.9
営業利益	9,013	9,447	4.8
減価償却費	4,293	3,945	△ 8.1
資本的支出	7,133	15,212	113.3

不動産賃貸業／販売業の営業利益

〈単位：億円〉

＜営業利益内訳＞

	2008/3	2009/3
不動産賃貸業、その他	82	86
不動産販売業	8	7
合計	90	94

※ 連結各社の実績に基づき簡便的な方法により算出

○不動産賃貸業（増益）：新規物件の通期稼働

- ・京王元本郷老人ホーム 2008年 2月
- ・ビッグベン（商業施設） 2008年 6月

○不動産販売業（減益）：販売戸数の減

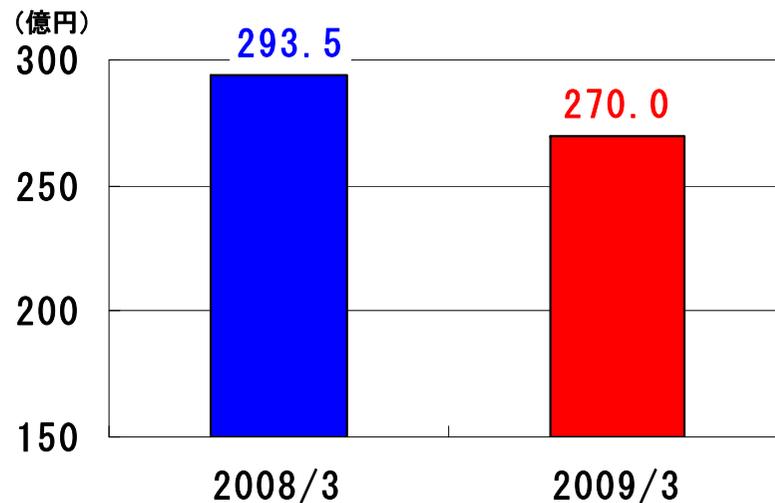
5. レジャー・サービス業の実績

〈単位:百万円〉

	2008/3	2009/3	増減率
			%
ホ テ ル 業	37,292	35,459	△ 4.9
旅 行 業	18,641	18,058	△ 3.1
広 告 代 理 業	5,805	5,270	△ 9.2
そ の 他	6,676	6,586	△ 1.3
外部顧客に対する営業収益	68,415	65,374	△ 4.4
セグメント間取引	5,420	5,309	-
営 業 収 益	73,835	70,684	△ 4.3
営 業 利 益	4,650	3,310	△ 28.8
減 価 償 却 費	3,682	3,875	5.2
資 本 的 支 出	4,969	5,460	9.9

京王プラザホテルの実績

<営業収益>



<新宿の営業実績>

○営業収益(減収) : <宿泊・料飲>景気悪化による減
 <宴会> 改装による影響

新宿の改装状況

- ・ 大宴会場「コンコードボールルーム」
2008年 6月～11月
- ・ 7階料飲施設
2008年 7月～ 9月

○客室稼働率

	2008/3	2009/3
京王プラザホテル(新宿)	86.9%	84.6%
(参考) 東京地区主要ホテル 平均稼働率(※)	80.0%	75.1%

※ 出典: ㈱オータパブリケーションズ「週刊ホテルレストラン」に掲載のデータに基づき当社にて算出

6. その他の実績

〈単位:百万円〉

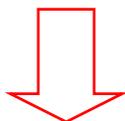
	2008/3	2009/3	増減率
			%
ビル総合管理業	8,775	9,156	4.3
車両整備業	5,761	5,901	2.4
建築・土木業	7,015	6,287	△ 10.4
その他の	787	976	24.0
外部顧客に対する営業収益	22,339	22,321	△ 0.1
セグメント間取引	33,112	35,984	-
営業収益	55,451	58,305	5.1
営業利益	2,691	2,514	△ 6.6
減価償却費	1,114	478	△ 57.1
資本的支出	1,031	184	△ 82.1

Ⅱ. 対応すべき課題と取組み

対処すべき課題と重点施策

～『信頼のトップブランド』を目指して～

「安全の確保」と「沿線価値の向上」
へのたゆまぬ努力



2009年度
京王グループ経営計画

鉄道事業のさらなる安全性の向上

- さらなる安全性の向上
- より安心・快適な輸送サービスの提供
- 大規模工事の推進

沿線価値の向上

- 沿線拠点開発の具体化
- 新規物件の開発
- カード戦略の進展
- 生活サポートサービスの展開
- 新規事業への取組み

利益の確保

- 京王電鉄およびグループ各社での取組み

さらなる安全性の向上

自動列車制御装置 (ATC) の整備

2008年度の実績

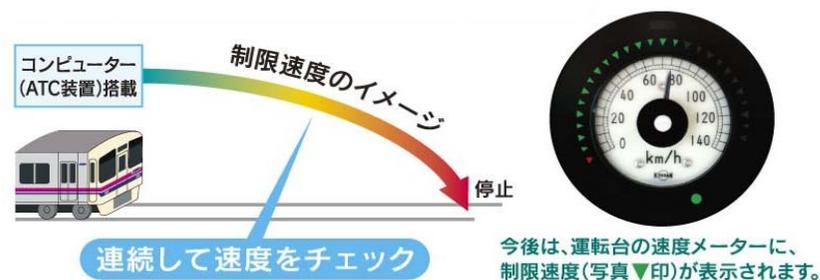
- ・ 信号ケーブル等の設置と機器室の整備を促進
- ・ 車両にATC装置を順次搭載
- ・ 相模原線においてATCの機能確認試験を開始
2009年3月～

今後の予定

- ・ 相模原線 ATCへの切替えを2009年度に完了
- ・ 京王線 地上装置の設置を完了し、
夜間走行試験を開始
- ・ 井の頭線 通信ケーブル敷設および地上装置の
設置を推進

自動列車制御装置(ATC)とは

→「連続して」電車を制御する信号システム



これまでの「自動列車停止装置(ATIS)」が、「点で」電車を制御していたのに対し、ATCはコンピューターが常に適正な速度で走行するよう電車をコントロールするため、安全性がさらに向上する。



相模原線でのATC走行試験

さらなる安全性の向上

車両の代替新造

2008年度の実績

- ・ 京王線 9000系車両 60両（6編成）
- ・ 井の頭線 1000系車両 25両（5編成） 計 85両

2009年度の計画

- ・ 京王線 9000系車両 60両（6編成）
- ・ 井の頭線 1000系車両 45両（9編成） 計 105両

【参考】 バリアフリー化率・省エネルギー化率

	2008年度末	2009年度末
バリアフリー化率	80%	95%
省エネルギー化率	78%	93%

省エネルギー化…エネルギー効率のよいVVVFインバータ制御装置を搭載し、従来の車両に比べて約30%のエネルギーを節約



2009年度も引き続き導入する
9000系（上）、1000系（下）車両

さらなる安全性の向上

地下駅火災対策

- ・ 幡ヶ谷駅 緊急避難通路の新設 2008年9月完成
- ・ 新宿駅 排煙設備および防火区画の新設 2009年3月完成

全ての地下駅火災対策を2008年度に完了

吉祥寺駅高架橋改築工事

2008年度の実績

- ・ 支障物や既設躯体の撤去、工事桁工や仮設桁工を実施

今後の予定

- ・ 引き続き、撤去工事や工事桁工などを継続するほか、新設躯体の築造なども着工

2010年度までに工事完了予定

高架橋柱・ずい道補強工事

- ・ 高架橋柱や新宿ずい道の耐震補強工事を継続



吉祥寺駅での工事の様子



補強が完了した稲田堤第1高架橋柱（左）
新宿ずい道の中柱（右）

より安心・快適な輸送サービスの提供

駅舎改良工事（橋上駅舎化、エレベーター設置など）

2008年度の実績

- ・ 桜上水駅（橋上駅舎） 2008年9月完成
- ・ 調布駅（仮橋上駅舎） 2008年9月完成
- ・ 京王片倉駅、山田駅、高尾駅（エレベーター設置）
- ・ 永福町駅、百草園駅（橋上駅舎） 着工
→ 駅施設のバリアフリー化、自由通路の整備

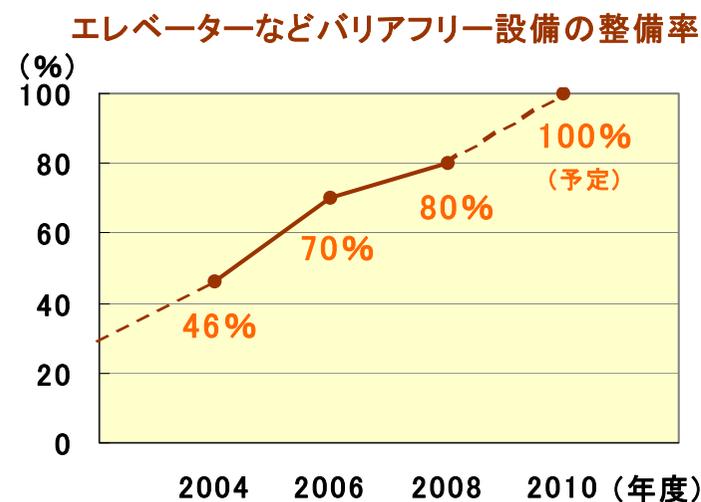
今後の予定

- ・ 永福町駅 2009年度末にバリアフリー化完了
- ・ 芦花公園駅、百草園駅 工事を継続
- ・ 千歳烏山駅、東府中駅などで
駅舎改良工事に着手
- ・ 平山城址公園駅（エレベーター設置）
2009年度完成

原則として2010年度までに
全ての駅での段差解消を目指す



永福町駅完成予想図



大規模工事の推進

調布駅付近連続立体交差事業

2008年度の実績

- ・ 調布駅 仮橋上駅舎の完成 2008年9月
- ・ 国領駅～調布駅間
上り線トンネルが貫通 2009年1月
- ・ 調布駅～西調布駅間
上り線トンネルの掘進を開始 2009年2月

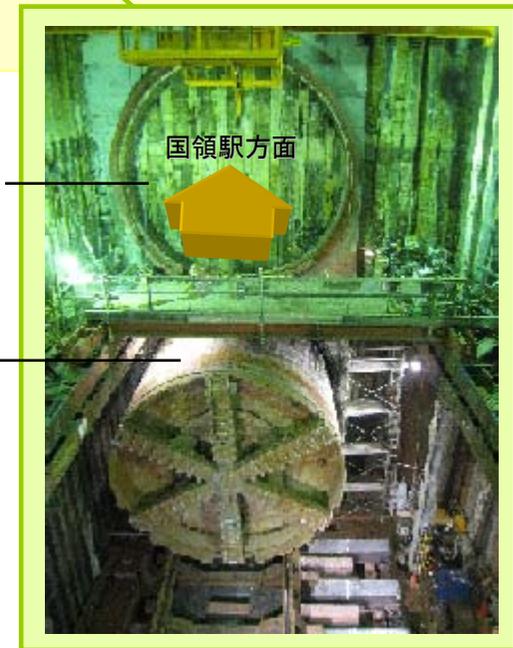
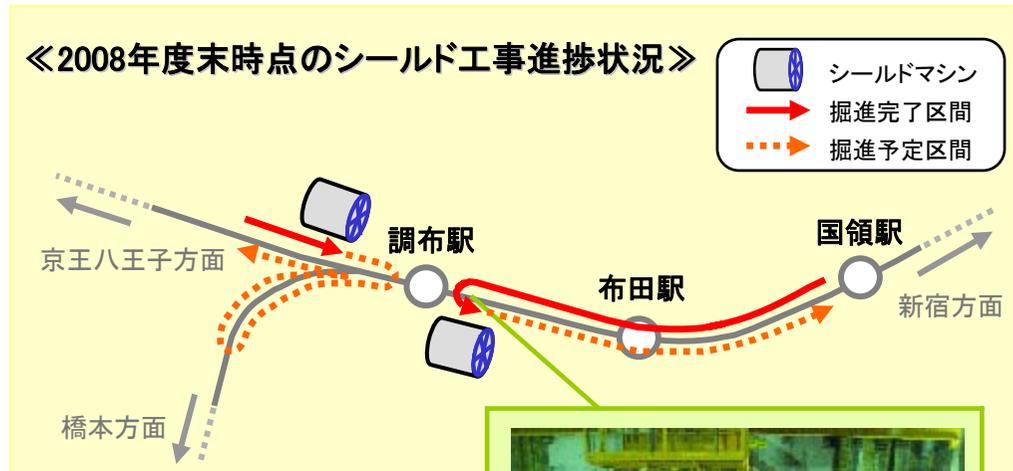
今後の予定

- ・ 引き続きトンネルの掘進や、
国領、布田、調布駅の駅部で掘削工事を継続

2012年度までに事業完了予定

笹塚以西の鉄道立体化

- ・ 代田橋駅～八幡山駅付近連続立体交差事業の事業認可・着手に向け、
事業主体である東京都と都市計画手続きや環境影響評価などを進める
- ・ 八幡山以西の鉄道立体化について、
早期事業採択に向け関係機関へ積極的に働きかける



調布駅東側シールドマシン回転立坑

新規物件の開発

商業施設の開発

2008年度の実績

- ・「京王リトナード北野」第1期 2008年12月完成
- ・「さくらゲート」（聖蹟桜ヶ丘） 2009年 3月完成

今後の予定

- ・ 府中駅東側コンコース店舗 2009年5月一部完成予定
- ・ 「京王リトナード北野」第2期 2009年秋完成予定
- ・ 「フレンテ南大沢」新館 2009年冬完成予定



「フレンテ南大沢」新館 完成予想図



「京王リトナード北野」完成予想図

新規物件の開発

住居系賃貸物件の供給

2008年度の実績

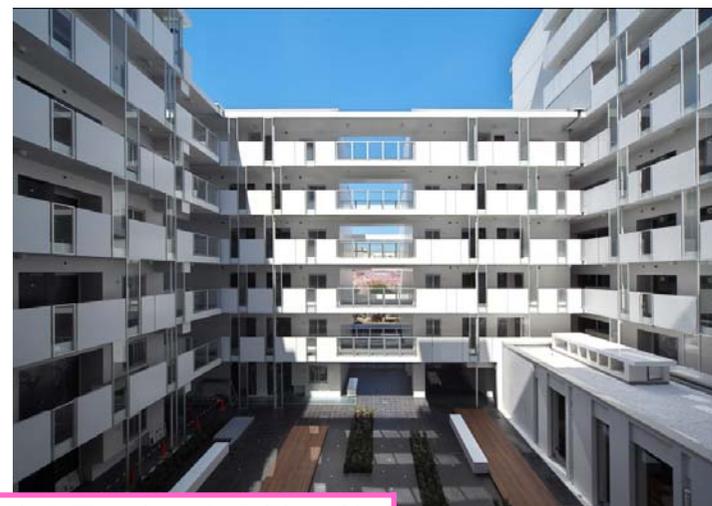
- ・ 空間志向賃貸住宅「Hi-ROOMS明大前」 2008年6月完成
- ・ 学生マンション事業「フィシオ京王八王子」 2009年3月完成

今後の予定

- ・ マルチターゲット型賃貸マンション
「アコルト新宿落合」 2009年4月完成
- ・ 「Hi-ROOMS神泉」 2009年5月完成予定



「フィシオ京王八王子」



「アコルト新宿落合」 (左：建物全景／右：中庭側より)

カード戦略の進展

京王グループ共通ポイントサービスの利便性向上

- ・ポイント券との引換期間を最長2年に延長
貯めたポイントを2年目に繰り越すことが可能
- ・「ポイントみ～る」を新型機種へ更新
店頭でのポイント券の発券が従来よりも短時間に

ポイントがさらに使いやすく

(参考) 京王パスポートカード会員数 : 2008年度末 107万人



※ポイント照会・発券機
「ポイントみ～る」

PASMO電子マネーサービスの拡大策

- ・グループ各社店舗や自動販売機等で使用範囲を拡大
「ベーカリーショップ ルパ」京王食品、
「啓文堂書店」京王書籍販売、
「駅構内コインロッカー」京王地下駐車場 等で導入
- ・沿線商店街への導入を拡大
「仙川商店街」の一部店舗（約60店舗）で導入



駅構内コインロッカーでも利用可能
となったPASMO電子マネー

(参考) 電子マネー加盟店数 : 2008年度末 699箇所 (対前年 +450箇所)

生活サポートサービスの展開

京王ほっとネットワークの取組み

2008年度の実績

- ・ 家事代行「ホームほっとサービス」開始 2008年4月
- ・ ネットスーパー開始（高幡不動地区） 2009年2月
- ・ 京王ほっとネットワーク桜上水店 開設 2009年3月
（生活サポートサービス 京王線・井の頭線沿線全域で展開）

今後の予定（2009年度）

- ・ シニアセキュリティを開始予定（高幡不動地区）



京王ほっとネットワーク桜上水店
（左：店舗全景、右：店舗内）

京王電鉄での取組み

賃貸資産の拡充

- ・ 商業施設「ビッグベン」(下北沢) 2008年6月取得
- ・ オフィスビル「日本橋小網町ビル」 2009年3月取得 (区分所有)



ビッグベン

【「ビッグベン」物件概要】

土地面積： 675㎡
建物面積： 3,184㎡
階数： 地上5階、地下2階



日本橋小網町ビル

【「日本橋小網町ビル」物件概要】

土地面積： 1,379㎡
建物面積： 8,786㎡
階数： 地上9階、地下1階

<当社は上記土地建物の約6割を区分所有>

グループ各社での取組み

京王百貨店サテライト店の出店

- ・ 2009年9月オープン予定の「ららぽーと新三郷」に初の小型サテライト店を出店（京王沿線外への進出も今回が初めて）
- ・ 「ららぽーと新三郷」唯一の百貨店として大人の生活シーンに必要な商品を提案

小型サテライト店のビジネスモデルを確立し、商機拡大をはかる



京王百貨店ららぽーと新三郷
(店舗イメージ)

京王プレッソインの展開

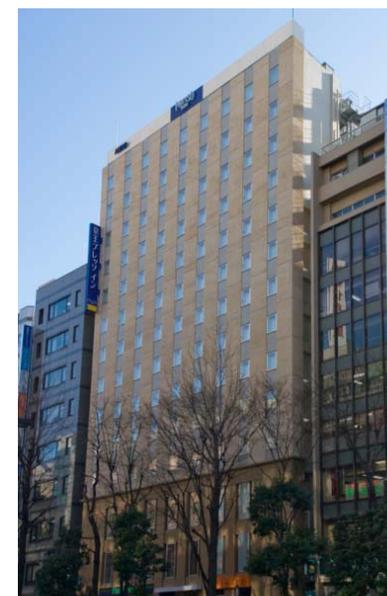
<建替え3店舗営業再開>

- ・ 茅場町 2008年3月
 - ・ 五反田 2008年5月
 - ・ 池袋 2009年2月
- } オープン

<今後の予定>

- ・ 九段下（8号店） 2009年夏 オープン予定
⇒ 全8店舗 2000室体制の確立

3000室体制の実現に向け新店舗の開拓に取り組む



京王プレッソイン池袋

Ⅲ. 2009年度の業績予想

連結設備投資額（セグメント別）

〈単位：億円〉

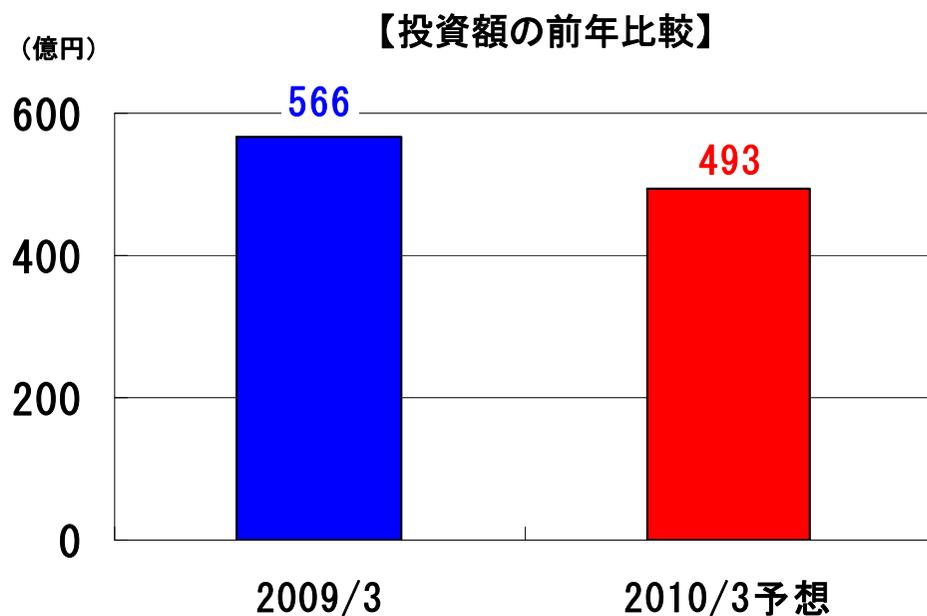
	2009/3	2010/3予想	主要行使内容
運 輸 業	611	541	鉄道事業（安全性向上等）
流 通 業	49	64	
不 動 産 業	152	257	新規賃貸資産
レジャー・サービス業	54	39	
そ の 他	1	7	
（ 連 結 修 正 ）	△ 9	△ 7	
合 計	859	903	

※ 上記の設備投資額は、資本的支出の金額を記載している。

鉄道事業投資額

〈単位：億円〉

項目	2009/3	2010/3予想	増減	増減率 (%)
安全性向上	470	396	△ 74	△ 16
サービス向上	79	78	△ 1	△ 1
環境対策・その他	17	18	1	8
合計	566	493	△ 73	△ 13



主な安全性向上投資

- ・ 車両代替新造
- ・ 調布駅付近連続立体交差事業
- ・ 自動列車制御装置 (ATC) 整備

1. 連結損益計算書

〈単位：億円〉

	2009/3	2010/3予想	増減	増減率	
連結営業収益	4,201	4,176	△ 25	△ 0.6%	
連結営業利益	335	264	△ 71	△ 21.4	
連結経常利益	302	223	△ 79	△ 26.3	
連結当期純利益	154	110	△ 44	△ 28.8	
連結EBITDA	670	635	△ 35	△ 5.2	
	運輸業	流通業	不動産業	レジャー・サービス業	その他
(営業収益)	△ 6億円	△ 68億円	+ 18億円	+ 16億円	△ 8億円
(営業利益)	△ 40億円	△ 15億円	△ 3億円	△ 5億円	△ 8億円

- (注) 1. 連結EBITDAは、連結営業利益 + 減価償却費により算出している。
 2. 事業セグメント別の営業収益、営業利益の増減額には、セグメント間取引を含む。

主な業績の変動要因

[連結営業収益・営業利益]

- ＜運輸業：減収減益＞
 - （タクシー業）景気悪化による需要減
 - （鉄道事業）設備投資にともなう減価償却費の増
- ＜流通業：減収減益＞
 - （百貨店業、ストア業）景気悪化による売上減
- ＜不動産業：増収減益＞
 - （不動産賃貸業）新規賃貸資産の稼働
 - （不動産販売業）販売物件の増
- ＜レジャー・サービス業
：増収減益＞
 - （ホテル業）宿泊特化型ホテルの新規店舗開業
- ＜その他：減収減益＞
 - （車両整備業）受注減

2. 事業セグメント別の営業収益

〈単位:億円〉

	2009/3	2010/3予想	増減	増減率
運 輸 業	1,309	1,303	△ 6	△ 0.5 [%]
流 通 業	1,852	1,784	△ 68	△ 3.7
不 動 産 業	239	258	18	7.7
レシ ^ャ ー・サービ ^ス 業	706	723	16	2.3
そ の 他	583	575	△ 8	△ 1.4
小 計	4,691	4,645	△ 46	△ 1.0
(連 結 修 正)	△ 489	△ 469	20	—
合 計	4,201	4,176	△ 25	△ 0.6

3. 事業セグメント別の営業利益

〈単位:億円〉

	2009/3	2010/3予想	増減	増減率
運 輸 業	135	95	△ 40	△ 29.8 [%]
流 通 業	58	43	△ 15	△ 25.9
不 動 産 業	94	91	△ 3	△ 3.7
レシ ^ャ ー・サービ ^ス 業	33	28	△ 5	△ 15.4
そ の 他	25	17	△ 8	△ 32.4
小 計	346	276	△ 70	△ 20.2
(連 結 修 正)	△ 10	△ 12	△ 1	—
合 計	335	264	△ 71	△ 21.4

鉄道事業運輸成績

	2009/3	2010/3予想	増減	増減率
輸 送 人 員	千人	千人	千人	%
定 期	365,559	365,387	△ 172	△ 0.0
（ 通 勤 ）	274,679	275,518	839	0.3
（ 通 学 ）	90,880	89,869	△ 1,011	△ 1.1
定 期 外	271,621	274,020	2,399	0.9
合 計	637,180	639,407	2,227	0.3

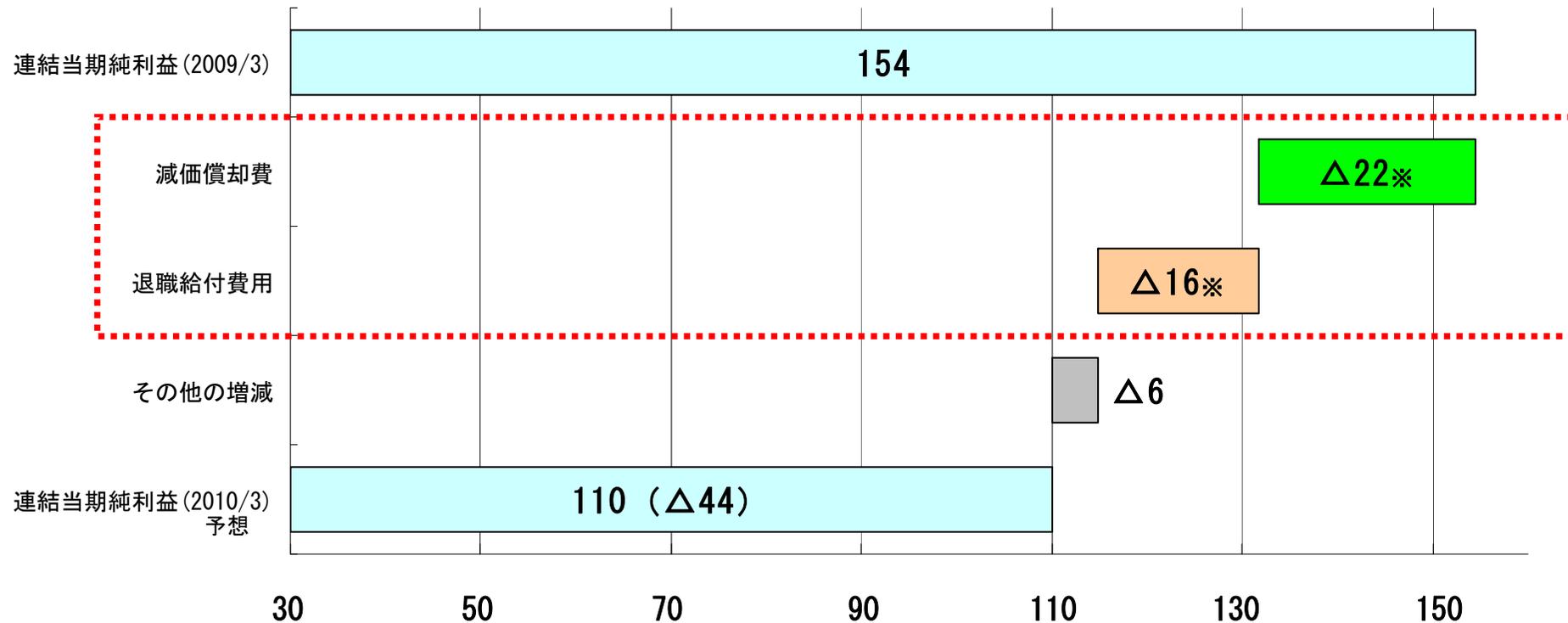
旅 客 運 輸 収 入	百万円	百万円	百万円	%
定 期	33,948	34,031	83	0.2
（ 通 勤 ）	30,333	30,453	120	0.4
（ 通 学 ）	3,614	3,577	△ 37	△ 1.0
定 期 外	46,117	46,486	368	0.8
合 計	80,065	80,517	451	0.6

2009年度の利益分析 ①

〈単位:億円〉

【連結当期純利益の分析】

 京王電鉄に係る主な減益要因

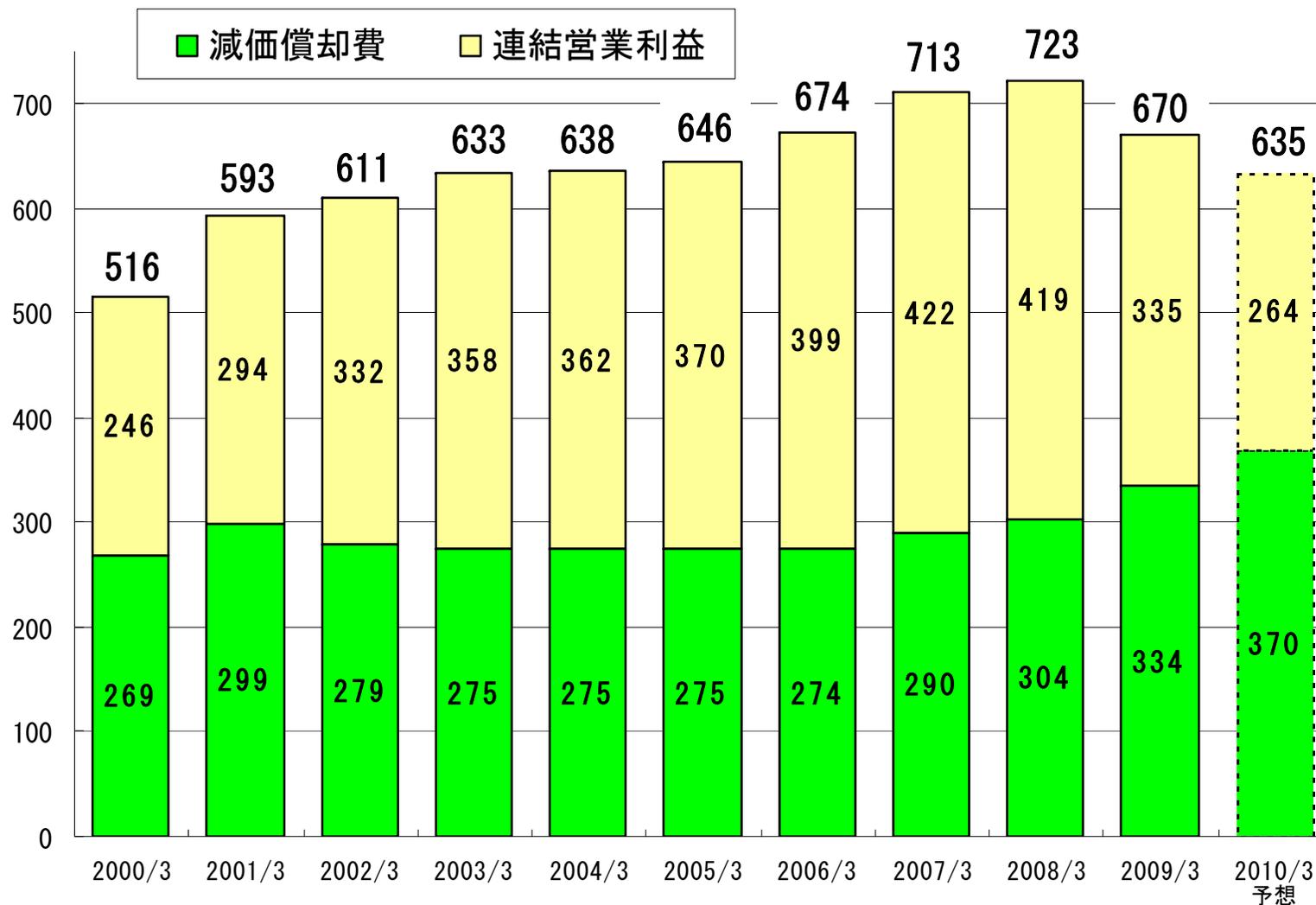


※ 減価償却費の増36億円、退職給付費用の増28億円から法人税相当分(40%)を控除して当期純利益への影響額を算出

2009年度の利益分析 ②

〈単位:億円〉

【連結EBITDAの推移】





この説明資料には、現時点における将来に関する前提・見通しに基づく予測が含まれております。実際の業績は、様々な要因により記載の予想数値と異なる可能性があります。

【連絡先】

京王電鉄株式会社

総合企画本部 経理部

久保 野島

PHONE : 042-337-3135

FAX : 042-374-9810